

事業概要シート

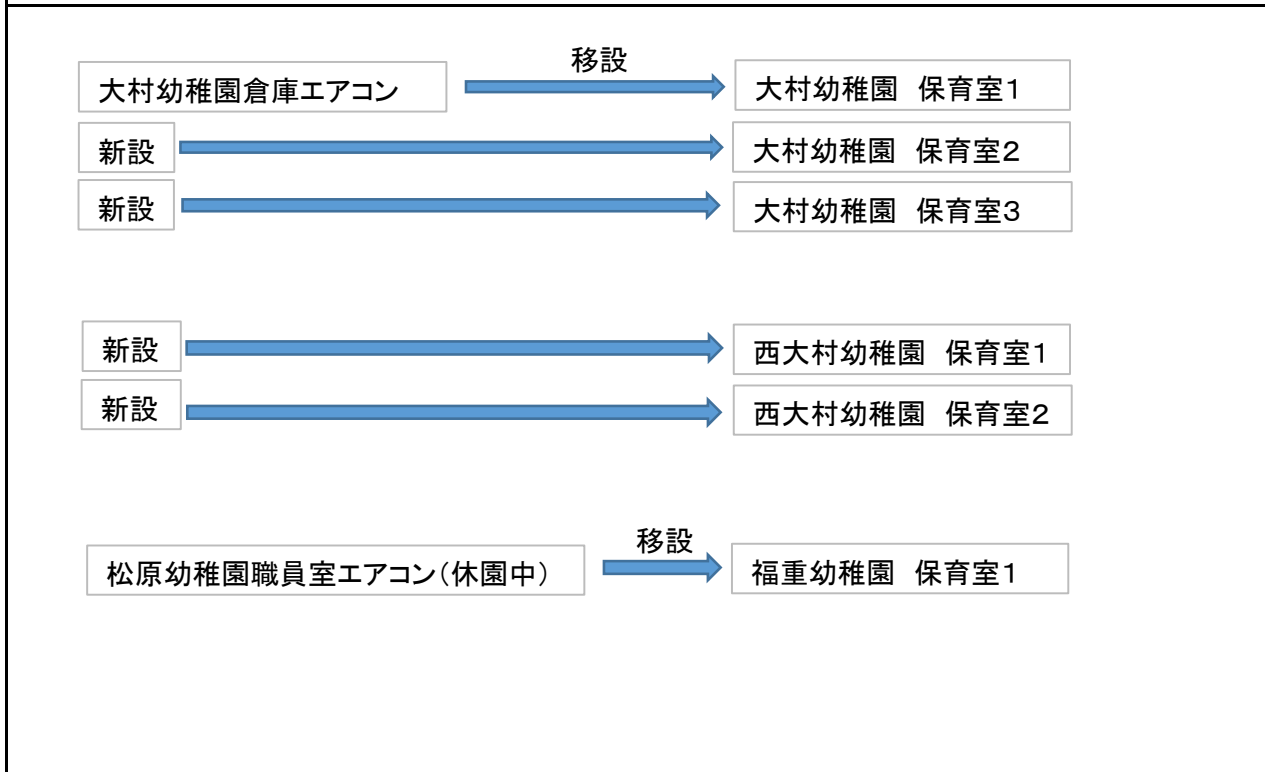
施策 0201 幼児教育の充実

<>の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	市立幼稚園保育室エアコン設置事業	新規	予算額	2,369 千円
				<< >> 千円
事業期間	平成30年度 ~ 平成30年度	財 源 内 訳	国庫支出金	717 千円
			県支出金	千円
根拠法令 要綱等			地方債	1,300 千円
			その他	千円
			一般財源	352 千円

【事業の目的・概要・対象】

公立幼稚園の園児の熱中症等による事故を防止するとともに教室等の温度を文科省が望ましいとする17度以上、28度以下にし、適切な教育環境を確保するため、現在エアコンが設置されていない大村幼稚園3室、西大村幼稚園2室、福重幼稚園1室の保育室にそれぞれ3台、2台、1台のエアコンを設置する。



【背景】

猛暑が続く、全国的に教育施設等で子どもの熱中症による死亡事故等が発生している状況の中、大村市においてもエアコンが設置されていない公立幼稚園の保育室の室温が38度を記録するなど、幼児の健康に影響を及ぼす危険な状況が発生した。また、そのような環境のなか、抵抗力が弱い幼児の健康を守るために室外に出ないようにする、体を動かさないようにする、狭い職員室で過ごすなどの対応をとらざるを得ず、適切な教育を受けさせることができない状況が続いた。また、今年度、文科省が学校環境衛生基準を改正し、教室等の環境は室温を17度以上、28度以下であることが望ましいと改正したことから、冬場においても適温を維持する必要がある、園児の健康と適切な教育環境を確保するためにエアコンを設置する。

担当課	こども政策課	課長	浦山 聡
担当者	古川朋博	問合せ先	0957-54-9100

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	エアコン設置保育室数	室			6		
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	保育室へのエアコン設置率	%			100		
②		日					

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	0	0	2,369	0	0	0	2,369
国庫支出金			717				717
県支出金							0
地方債			1,300				1,300
その他							0
一般財源			352				352
人件費		0	727	0	0	0	727
職員(人)			0.10人				0.10人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	3,096	0	0	0	3,096

妥当性 (市の関与)	市が市立園の園児の健康と適切な教育環境を確保することは必要である。
有効性 (施策貢献度)	抵抗力が弱い園児の熱中症の防止と適切な教育環境を確保する手段として有効である。
効率性 (コスト)	動力を使用しない仕様のもの、保育室を適温に保つ必要最低限の能力のもの、設置が容易なタイプのもを設置することで、電気工事費用、本体費用、設置費用及び消費電力を抑えることができる。また、休園している園に設置されているエアコンを移設することによりコストを抑える。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	一次評価のとおり